



2008 年度不登校対策ファミリーサポート事業

不登校の子どもを抱える親の居場所づくり、相談会、研修会など、家族ぐるみの支援を神奈川県教育委員会とフリースクール等が協働で行う事業です。昨年度は神奈川県西部で行われたので、今年は県央の座間市・海老名市・綾瀬市・大和市を対象に行われることになりました。これは、小田原にある 子どもと生活文化協会(CLCA)の和田重宏先生からの呼びかけで、「あすなろ」が座間を拠点にして、協働事業を行うことになりました。その第1回不登校相談会が7月26日(土)午後サニープレイス座間で行われました。



この日は和田先生をはじめ、県教育委員会の成岡先生、河原先生、高相津久井教育事務所の小川先生が出席されて、各部門に分かれての相談会ができました。座間、海老名、綾瀬から7家族の参加があり、現状や進路について真剣な相談がありました。神奈川県は不登校や高校中退が多くなっており、この協働事業がその必要性を問われているように思います。

今後の予定として9月は、親や家族が孤立しないように**親の居場所づくりを12日**、不登校への取り組みや支援についての**研修会を29日**に計画しています。

8月の畑

学校が夏休みに入り、あすなろの活動も一休みとしたい所ですが、畑は待ってくれません。8/5(火)朝雨がパラツキちょっと涼しいかなと思う日でしたが、次第に日差しが強くなり、そんな中皆で雑草取りに汗を流しました。草に負け、見えなくなっていた「葱」や「サトイモ」がホッとしたように顔をだしました。サツマイモも草をとってもらい、元気になったようです。

又、8/7(木)には、取り残した草取りと、ワイワイガヤガヤ「種は5センチ間隔ぐらいにまくのよ」「種のまきすぎ?」「土のかけすぎ」「芽が出なかったらどうしよう」「蒔きすぎの所は間引いておひたしで食べちゃおう」……と賑やかに蕎麦の種まきをしました。ひまわり・ピーナツの花も咲いています。

蕎麦は心配後無用、13日には皆見事に元気よく、きれいに芽を出し、すくすく育っているのが確認できました。又おいしい手打ち蕎麦が食べられそうです。



サツマイモ



蕎麦の芽

7月の研修会に参加しました



座間公民館で行なわれた(座間市内で子どもの環境を考える市民の会)の「主催子どもプロジェクト」に依る[こどもの居場所](講師 西野博之氏)の講演に参加しました。はじめに「あすなろのスタッフ」により不登校ひきこもり居場所 あすなろの活動の紹介がありました。この後川崎市子供夢パーク所長・フリースペースたまりば理事長 西野博之氏の話の聞ききました。22年もの間子供達と関わられた人のお話で「危険」を取り除きすぎるとかえって危ない、与えすぎると、幸福感が減っていくなど共感することが沢山ありました。

特に人が生まれる確率は1億円の宝くじに100万回連続で当たるようなものとのこと、生きてるだけで素晴らしいことです。子供達が自身で助けてと言える様に成るのが究極の目標とのことでした。

